

令和4年1月号

学校だより 糎谷

大田区立糎谷小学校

ホームページ <https://www.ota-school.ed.jp/koujiya-es/>

- ★生活指導 月目標
「めあてをもった生活をしよう」
- ★保健指導 月目標
「かぜやインフルエンザを予防しよう」



1月の行事予定

1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	成人の日
11	火	始業式
12	水	安全指導 給食始 計測6年
13	木	委員会活動 計測5年
14	金	書初め展始 区・連合書写展始 計測4年
15	土	ものづくり教育・学習フォーラム
16	日	
17	月	全校朝会 計測3年
18	火	計測2年
19	水	午前授業(6年以外) 小中一貫教育の日 計測1年
20	木	区・連合書写展終
21	金	午前授業 書初め展終
22	土	
23	日	
24	月	全校朝会 クラブ活動
25	火	避難訓練(火災・消火訓練)
26	水	児童集会
27	木	
28	金	展覧会(児童鑑賞日)
29	土	展覧会(保護者鑑賞日) 土曜授業 土曜補習教室
30	日	
31	月	委員会活動

冬季休業日

作品作りなどを通して、子どものウェルビーイングを 校長 水浦 茂樹

新年、明けましておめでとうございます。「令和4年はどのような年になるか」と「令和4年をどのような年にするか」は、自分の意志が込められているかそうでないかに依るため、意味合いは随分と違います。私は、当然に令和4年を後者の立場として、糎谷小学校の教育活動等を精選し、これまで以上に質を向上させ、総合的な教育力として子どもの学力を高めていけるように、そして、結果として、子どもたちが「嬉しい」、「楽しい」と思えるような学校経営に尽力し、校長が替わっても、持続可能な教育活動を展開できる学校の基礎作りをいたしたい、そんな年にいたしたいと考えています。このことを実現するために、「至誠通天(※)」の心構えで努めてまいります。どうぞよろしく願い申し上げます。

私は、本年は、3学期を令和4年度につなげる時間としたいと思います。「糎谷に育ち、糎谷小で学んだことを生涯の誇りに思う子ども」が、自ら伸び、育つために、次の3つの学びを、子どもの「分かる」をテーマに、家庭学習と連動しながら授業を進めてまいりたいと思います。

- ・子どもの成長に合わせて意欲を引き出す学び
- ・ICTの活用により、一人一人の力を最大限に伸ばす学び
- ・子どもの成長を保護者・地域で支え、全ての子どもが主体的に学び続ける力を育てる学び

糎谷小の駅伝選手のように、一所懸命に走り抜け、必要に応じて振り返り、戻り、修正・調整しながら前進してまいります。

さて、昨今「ウェルビーイング(幸せ)」という言葉が注目されています。個人のみならず社会にも広げることや、ウェルビーイングを「経済的な豊かさ」だけでなく、「精神的な豊かさや健康」などの次元まで広げて広く捉えていること等が重要とされています。糎谷小の子どもが、「ウェルビーイング」を享受し、持続可能な社会をけん引する力を身に付けられるよう、自ら問いを立てて自ら学び取るスタイルの子ども主体の教育活動を実践してまいります。そして、このことに加え、少しばかりかもしれませんが、「風味」を加えたいと思います。糎谷小の教育活動の最終目的に、自他共に大切に思いやりの心を育むことを加えることです。その一つの方策として、子どもたちに、学習資源である文化・芸術の価値を共有させたいと思います。画工作科の教師がきめ細かな指導を通して計画してきた今月末の展覧会を有効に活用し、例えば、自分なりの思いを込めて、作品を最後まで仕上げる価値に触れさせたいと思います。思いを込めた作品は子ども自身の宝となります。また、作品作りに集中したこと自体が崇高な価値であり、互いの作品を尊重することにつながります。新しい価値を創り出す「価値」に気付かせたい、そんな展覧会にしたいと思います。展覧会によって、小さな「ウェルビーイング」を積み重ねてまいります。

令和4年は、開校70周年(創立146年)記念事業及び授業改善の実践や補習教室の充実等学力向上に力を注ぐとともに、喫緊の課題である不登校支援に取り組んでまいります。そして、学びを今よりもっと広く捉えた教育活動を実践し、結果として、糎谷小学校が、子どもの安心の居場所になり、やりたいことを応援し、子どもの自己決定を尊重し、子どもの場は子どもで創る、ウェルビーイングを創り出す学校となるようにしたいと思います。どうぞよろしく願い申し上げます。

※中国の孟子の言葉で、日本では、吉田松陰が塾生に送った。「誠の心を尽くして行動すれば、いつかは必ず天に通じる」という意味。

【2月の主な予定】	
10日(木)	学校公開
12日(土)	土曜授業日 学校公開
15日(火)	大田区漢字検定
25日(金)	保護者会(2・4・6年)

※新型コロナウイルス感染予防のため、予定が変更になることがあります。

※最新の情報はホームページ・メール・お便りなどでお知らせします。

3年生より

第3学年

3年生では、お家の方々に準備のご協力を得て、12月に「紙すき」を以下の手順で行いました。

- ①好きな色のお花紙を小さくちぎり、水を入れたペットボトルに入れる
- ②ペットボトルをよく振る
- ③紙すきの用具に②を流し入れ、形をスポンジで整える
- ④タオルで水分を取り、平らな場所で乾かす

作りながら友達同士協力し合ったり、出来上がった作品を見て喜んだり、ちぎった紙から色も形も異なった紙ができあがる過程に、ものづくりの楽しさを感じていました。

出来上がった作品は、展覧会での共同作品として展示します。また、1月15日(土)に大田区産業プラザPIOで開催される「ものづくり教育・学習フォーラム」(全校にお知らせ配布済)において、代表児童が紙すきの仕方について発表をする予定です。

色とりどりのカラフルな紙すき作品に、ぜひご期待ください。

展覧会委員会 展覧会委員会

本校の体育館が、すてきなミュージアムに変わります。展覧会のテーマは、「こころゆたかに のびのびと」です。自分なりのイメージを膨らませて、思いを広げながら作品をつくりました。ぜひ、作品にかける思いを感じとっていただき、温かい目でご鑑賞ください。

1月28日(金) 児童鑑賞日

1月29日(土) 保護者鑑賞日 9時～16時

保護者鑑賞時間等の詳細は、後日配布されるご案内をご参照くださいますようお願いいたします。

小中一貫教育の会について 教務部

大田区では「おおた教育振興プラン2014」に「小中一貫教育の推進」を掲げ、義務教育を9年間の枠で考え、「小中一貫教育プログラム」に基づき、一貫した教育を行い、確かな学力の定着を目指しています。糞谷小学校では、北糞谷小学校・糞谷中学校と3校で連携して、小学校から中学校へのスムーズな移行を図り、ゆとりある安定した生活を可能にするための方策を検討し、実践してきました。

11月10日の「小中一貫教育の会」では、新型コロナウイルス感染症対策のため、糞谷小学校の授業公開をオンラインで行いました。また、1月19日は、糞谷小、北糞谷小の6年生を対象に、糞谷中学校の授業体験が計画されています。他校の児童と接触しないよう学校単位で授業を受けるなど、感染症対策を施しながらの実施となります。

また、一貫性のある継続的・系統的な指導を行うために作成した『3校生活指導スタンダード』を生かした取り組みも進めています。小・中学校の学習内容・指導のつながりをこれまで以上に意識しながら、小中3校が連携して義務教育の9年間に責任をもって指導してまいります。

美しき花をいつも身近に

公益財団法人東京都公園協会公園事業部 公益事業推進課「花壇・庭づくり活動支援事業」の一環として、土や花等の材料を支給いただき、校門や校庭の花壇が華やかになりました。糞谷小は、人生を豊かにする花が咲くところです。栽培委員会の子どもたちがきれいに植えました。ご来校の際には、是非ともご覧ください。



書初め展について

国語部

1月14日(金)～21日(金)まで、校内書初め展が行われます。低学年は硬筆、中学年と高学年は毛筆の作品です。各教室の掲示板に展示しています。

新年を迎え、新たな目標を心に抱いた子どもたちが、文字の形や大きさなどにも意識を向けながら一文字一文字気持ちを込めて丁寧に書きます。また、文字には、書く人の思いが表れます。とめやはね、はらいなどの細部に気を付け、「今年的一年、美しい文字を書き続けていこう」という気持ちをもつ機会となるよう指導していきます。

一生懸命に書いた子供たちの作品を是非ご覧ください。他にも、1月14日(金)～20日(木)に池上会館にて大田区連合書写展が行われます。お時間があれば、ご参観ください。

サポートルームより

サポートルーム巡回指導教員

引き続き感染症対策を徹底しての指導となりますが、試行錯誤を重ね、児童のよさを伸ばす、個々の課題に向き合った指導を続けております。おかげさまで、児童、教職員、保護者の方々のサポートルームへの理解が年々深まり、充実した教育活動が定着してきました。

サポートルームは、「個別指導」と「小集団指導」の形態で、個々の課題に向き合い、適切なコミュニケーションの取り方を学ぶ教室です。コミュニケーションの学習は、多岐に渡ります。まず、日常的なあいさつ、発言や返事の仕方、自分の気持ちの伝え方や相手のことばの受け止め方など、ことばのやり取りによる学習があります。また、集団生活や活動に必要なルールやマナーを身に付けることなど、対人関係に関わる学習も行います。自身に適したリラックス方法や気持ちのコントロールの仕方を練習するなど、自己理解を基とした学習に取り組んでいる児童もいます。

私たち巡回指導教員は、通室毎に在籍学級担任や特別支援教室専門員、保護者の方々と児童の様子について情報交換を行い、密接な連携を大切に指導にあたっています。どの学年からでも通室が遅すぎるということはありませんが、低学年のうちに通室につながった児童が、その後の学校生活に見通しをもって過ごす様子から、適切な早期支援の大切さを感じているところです。サポートルームの学びが、在籍学級をはじめ、学校生活のいろいろな場面で生かされるように、これからもサポートルームの指導に力を尽くします。

小学生東京駅伝について(令和3年12月18日(土))

体育部

12月18日(土)、大田区小学生駅伝大会が大田スタジアムで開催されました。少し寒かったけれど、晴天で、選手には良いコンディションになったと思います。

この駅伝に参加することを通して子どもたちには、あきらめない粘り強さを身に付け、糞谷小のチームとして支え合う協働性を実現してほしいと考えました。

本校の選手は、16名です。5年生8名と6年生が8名でした。はじめは、ロードレース。ここで、5年生の選手が4位に入る健闘をするなど、選手が一生懸命走りきる姿に感動しました。また、本番の駅伝では、一時は4位になる走り。それぞれが好タイムを出し、最終的に30校中10位という結果を収めました。

練習は、時間が限られていましたが、質のよい練習ができたため、よい成果が出せたのだと思います。本当におつかれさまでした。